

新病院整備事業市民説明会のご意見・質問概要

令和6年8月2日（金）午後7時開催

会場：宍粟防災センター

※ホームページの公表に際し当日の発言のままではなく表現や内容を整理・精査しています。また、当日お答えできなかった内容及び訂正箇所については、下線部にて記載しています。

◆収支計画に関すること

No. 1 【収支計画について】

質問	純損益が毎年4億円以上の赤字になるが、病院経営がどうしてできるのか。
回答	純損益の在り方につきましては、公営企業会計のルール上、収入支出を伴うものでないものが混在しており損益を構成しているという点を前提として説明します。 総合病院のこれまでの経営については、昭和50年の郡民病院の開院から約50年近くたちますが、経常損益が黒字化した年度は僅か15年しかありません。宍粟市になってからも経常損益は赤字が続き、令和元年度に21年ぶりに黒字となった次第です。 令和2年度から令和4年度までは、新型コロナウイルス感染症の患者受入れ重点医療機関の指定を県から受け、国からの交付金がありましたので黒字につながっています。 このように、過去からしっかりと経営をしてきたこともあり、経常損益の赤字が続くことのみで病院が破綻するというようなことには結論付けられないと考えます。

No. 2 【収支計画について】

質問	ずっと赤字だったが、しっかりと経営できた要因を教えてください。
回答	純損益の問題につきましては、民間病院であれば、損益を見て運営していくことができますが、公立病院の場合は、政策医療や不採算医療を担うという一面もあります。 特に、この宍粟市の総合病院の場合は、近隣に病院が無いことも考慮して、市が一般会計から病院事業に、国の定めた繰出基準に基づいて繰入れを行いますので、その収入も含めて経営が成り立っています。なお、赤字補てんという意味での繰入は行っていません。

No. 3 【収支計画について】

質問	収支計画では、1日の平均外来患者数が400人、入院患者数が152人であるが、現状の数値と比べてかなり数が多く、努力目標のような気がしてならない。大丈夫か。
回答	計画策定時は令和元年度頃の数字を、今後の伸び代も考慮しながら試算していました。 その後のコロナ禍により入院については大幅に減少しましたが、令和4年度の1日当たりの入院患者数110人から、令和5年度は124人まで戻っています。また、令和6年度の4月から7月の平均は、1日当たり132人まで回復しており、着実に上昇しています。また、現状での患者動向を見たときに、宍粟市に在住して、市外に入院されている患者さんが、一日約80名おられます。総合病院で対応できない患者さんもおられますが、対応可能な疾患の人たちもその中かなりおられるのではないかと推定されます。 今後、しっかりと患者確保に向けた様々な努力をして、何割かでも確保できれば、目標値に届くのではないかと考えています。

No. 4 【財源について】

質問	財源内訳で、病院資金というものがあるが、どういうものか。
回答	病院資金の内訳については、現金預金として病院が保有している資金です。

No. 5 【財源について】

質問	開院時における病院の自己資本はいくらか。
回答	開院時における自己資本については、現状では計算はしておりませんが、開院時の現金

	保有残高としては約 <u>20.7 億円</u> となっています。
	<u>補足説明</u> 令和5年度末時点の現金は、約 22.4 億円保有していますが、開院時には約 20.7 億円保有する見込みとしています。

No. 6 【財源について】

質問	開院時の自己資本で、なぜ現金として 22 億円(※)あるのか教えてください。
回答	自己資本について、今回の市民説明会では現金の流れを説明させていただきました。資産である土地については、今後検討していかなければいけないと考えております。自己資本をつくる際に貸借対照表を作成しますが、本件の収支計画では作成しておりません。 <u>※補足説明 (No.5 の回答訂正により、本質問においての開院時の現金保有額は、約 20.7 億円として説明いたします。)</u> 開院時の保有現金については、令和5年度末時点で、約 22.4 億円保有していますが、新病院整備への充当などにより、減少額として 1.7 億円を見込んでおり、その結果、開院時には約 20.7 億円保有できる見込みとしています。

No. 7 【財源について】

質問	毎年 4 億円以上の赤字が出ると貸借対照表の資本が減っていき、マイナスになってしまうと債務超過となって経営できなくなる。 基本的な貸借対照表をつくらずに、この事業を進めるのですか。
回答	病院整備については、これまでも他の自治体で全国的にされています。 こちら事業当初に、他の自治体の例を勉強しながら進めてきましたが、貸借対照表まで整理している自治体は、これまでの確認ではございませんので、市としては、これで十分と判断したところです。 <u>補足説明</u> 今回の収支シミュレーションは、資金不足に陥らないかという観点で作成しています。貸借対照表も重要な財務諸表ではありますが、資金に着目して試算していますので貸借対照表は作成しておりません。なお、他の自治体病院の建て替え事業においても貸借対照表の作成をしているケースは見受けられません。

No. 8 【収支シミュレーションの作成について】

質問	収支シミュレーションを作成した際、税理士などの有資格者が参加されたのですか。
回答	税理士等の有資格者の参画については、収支シミュレーションの策定時はありませんが、策定後に国に登録されているアドバイザーの方に確認いただき、本内容は妥当である旨回答を頂いています。

No. 9 【収支シミュレーションの作成について】

質問	収支シミュレーションの確認については、経営強化プランのときに監査法人トーマツさんが見られたと思うが、その時は総額 198 億円ではなく 156 億円の事業費ではないのか。
回答	ご指摘のとおり、前回の 156 億円の事業費でお示ししております。監査法人には、試算の考え方について、一定の合理性のあると御意見をいただいておりますので、その考えのもと 198 億円の総事業費に対する収支シミュレーションを行っています。

No. 10 【その他】

質問	198 億円で実際にやれるのかどうか、努力目標のような数字で達成できるのかどうかというところを考えて欲しい。赤字であっても耐えてきたとのことだが、今までは公立病院
----	---

	だったから宍粟市からの助成があったと思う。
回答	<p>地方における医師の確保は、決して都市部の病院と比べて楽ではありません。しかしながら、本院は僻地医療拠点病院や特定中核病院となっていますので、県から、県養成医師ということで、毎年ドクターを優先的に派遣していただいております。また、神戸大学、大阪医科薬科大学といった大学医局とも、良好な関係を維持し対応をいただいております。公立病院というのは民間病院と違い、儲かる部分だけ運営していくという営利企業的なことはできません。</p> <p>新病院では病床総数も、164床に縮小していますし、これから高齢者の方々がますます増えて回復期機能に対するニーズが今まで以上に高まるということで、地域包括ケア病棟を増やすといった計画をしています。</p> <p>自治体病院の場合は、不採算医療を担うという一面がありますので、まずは病院として、地域における医療機能の在り方を考えるのが最優先です。病院の医療機能のあり方は、それぞれの地域でどういった医療環境なのか、当該自治体病院の立ち位置はどうかなどを念頭に置いて検討するのが大切になります。</p>

◆その他

No. 1 【事業スケジュールについて】

質問	実施設計に移る時期はいつになるのか。
回答	実施設計の時期は、令和6年度の8月から9月頃に入っていく予定です。

◆説明会当日に頂きましたご意見

<p>病院建設は進めるべき。近年の物価上昇により、多少の金額がオーバーすることはしかたがないと思う。一日でも早く病院整備を進めていただきたいし、応援したいと思う。</p>
<p>宍粟総合病院は必要な病院だと思う。ただ経営破綻して病院がなくなってしまうのは元も子もない。今の事業費で実際にやれるのかどうかしっかりと考えて欲しい。</p>
<p>こんな大きな事業費でも耐えられるところを、しっかり説明してから工事にかかるべき。みんなの意見を聞きながら、進めてもらいたい。</p>
<p>確かに赤字は駄目だが、経営というものは、赤字の時もある。それを改善しながら、将来に向けて一步一步改善しながらやっていく。そういうことをしていくのが経営だと思う。</p>
<p>病院がないと生活できない。これが現実。総合病院による初期判断が正しく適切で、迅速に対応いただいたので私の命は助かった。</p>
<p>総合病院の先生方は一生懸命やっておられるが、市民の意見では、医療体制がまだまだ不備なので、もっとしっかりした病院にしてほしい。</p>
<p>みんな良い病院にして欲しい、医療体制にして欲しいと思っているのだが、そのプランが全然ない。他の病院のようなプランが宍粟市民病院には無い。ただ病院を建てるしか聞こえてこない。</p>
<p>非常に熱い思いでいろいろお仕事をされており、研修医の方も多く増えて、スタッフ体制も整いつつあるということで、非常に病院側としても頑張らせていただいているということが、よく分かった。</p>
<p>病院建築については、反対をされている方もいる。その方々は、高額な建設費をつぎ込んで、病院自体はやっていけるのかという心配と、それが後世に負担が大きくなるかという心配での反対だと思う。総合病院が新しくなるということについては反対されておらず、将来への憂いによって反対されているのだと思う。</p>
<p>宍粟総合病院は、市民にとってなくてはならない病院なのだという理解をもう一度持ち直す必要があるのではないかと考える。できれば1日も早く新病院を建てていただいて、宍粟市の唯一の総合病院である、この病院を我々住民のために1日も早くしていただけたらと思う。</p>
<p>病院自体を守ることや盛り上げていくのが市民の役目だと思う。ただ、経営が非常に厳しくなるのではないかと心配もあろうかと思うが、経営が厳しくなればなるほど、市民として、よりバックアップしていく必要があるのではないかと考える。</p>
<p>院長先生のお話しにもあったように、もし何かあったときには最初に、総合病院のほうで診ても</p>

らうような体制をとるなど、住民が病院を盛り立てていこうという気持ちを持った上で、取り組んでいく必要があると思う。